

ぶんきょう

環境ネットワーク ニュース

第14号(季刊)

(発行) 文京区環境ネットワーク会議
文京区資源環境部環境対策課
(住所) 〒112-0003 文京区春日1-16-21
(電話) 03-5803-1276 (FAX) 035803-1362
(E-mail) kankyo@city.bunkyo.tokyo.jp
<http://www.city.bunkyo.tokyo.jp/> (環境コーナー)
発行日 平成15年3月25日(初版)

文化・歴史環境特集 「一本の樹木、一戸の建物」



楠亭の大楠(本郷一丁目)

区内環境保全団体の近況・活動報告
文京区地球温暖化対策実行計画の現状(2)
寄稿コーナー、その他

瀬川邸・旧古市公威邸(本郷二丁目)

写真: 秋元良平「瀬川邸の四季」より



もし、数十年後に人々の努力が実って、地球温暖化問題が解決されたとして、ふと文京区のまわりを見渡してみると、どこもかしこもびかびかのビル群と、整然と植樹された街路樹や緑地や屋上庭園が見事な、いわゆるどこにでもある都市の風景が広がっているだけの街となってしまっていたとしたら・・・。そのようないくら実質的な一部の環境がよくなったとしても、生活の場としての精神的なささえとなる文化・歴史的な環境が損なわれてはそれこそ文京区のアイデンティティがなくなってしまうことにならないでしょうか。

21世紀の初頭においてなお、都市化という時代の流れに押し流されることなくとどめられている、あるいは、震災や戦災などの災害をくぐり抜けてき

た樹木や建物が、これからもこの文京の地にあって欲しいと願うのは簡単ですが、今回の号では、今一度、文京区の特徴を見つめ直すきっかけに、それがいかにして残されているか、尽力されている方々のお話をレポートしてみることにしました。

一本の樹木、一戸の建物に何かを読み取り、それについて想いをめぐらせる人々から小説や随筆が生まれ、それについて語り合う人々が集うことから交流が生まれる。これこそが文化的環境であり、そのいとぐちが歴史的環境となれば、それらの恩恵を受けて生活させていただいていることに対して、文京区民として、感謝の気持ちをどのようにして表してゆけばよいのでしょうか。

(文京区環境ネットワーク会議委員 竹井淳子)

ぶんきょうの文化・歴史を引き継いでいる人々

一本の大楠

樹齢は400年、600年、1000年と様々な説があるようです。(個人の所有)



所有者の中山氏のお話から

この木は私たちにとっても大切な木です。ですから家屋を建て直す時もこの大楠だけは残すことを前提に計画をたてました。マンションの建設業者にもあの木に見合うようなデザインでお願いしましたので今に至っています。この木の周辺も、元の敷地にあった敷石などを活かしてデザインしていただきました。

この大楠は区の保護樹木にもなっていますので、剪定などの費用を一部負担はしていただいておりますが、そのつどクレーン車が2台がかりで剪定しますので、大変は大変です。楠の説明の看板がすっかり古くなってしまって読みづらくなっていますが、あれはお役所のもので、きれいにしていただけたらと思っています。

この地に一番思い入れがあるのは父でして、その思いがかなって、大楠の学術的な解説や当家がこの地に居をかまえる以前のこの地域の歴史などを一冊の本にすることができました。真砂図書館にありますのでお読みいただければ幸いです。

昭和30年頃の話だそうです、ここを散歩で通りがかる時に必ず手を合わせに行かれるご婦人がいらしたそうです。ある日のこと、その方が当宅に御神酒を持って来られたのでお話を伺うと、お孫さんの病気の快気をこの楠に祈願されていて、それがかなったということでお礼に来られたということでした。これだけの大木になるとやはり御霊が宿するようになるのだろうかということで、それで注連縄をかけて祀ることになったのだそうです。

<本のタイトル>

大楠(オオクスノキ)のある住い
東京都文京区本郷一丁目
楠郷臺 (NAN GOU DAI)

大楠の落ち葉について

楠は常緑広葉樹なのですが落ち葉は出ます。ある時はとなりのビルの吹きだまりに、そしてまたある時は近所の玄関前にたまってしまふことがあるようですが、まわりの方々が昔ながらのおつきあいの中で掃き集めて下さっています。とてもありがたいことだと思います。

地域住民の働きかけで移植された春日通りの楠(国の所有)



当初はマンションの駐車場の一角にあり、住民にとってもランドマーク的な楠だったのが、所有の複雑な移管でいつのまにか国道の一部になってしまいました。春日通り拡幅事業で切られることになった当日、地域の有志の方々が楠の前に立ちはだかって阻止したのです。結局東京都を介して国と交渉して、適切な移植地を提供されたのでなんとか現在も生きながらえています。できればもとの場所にあつてほしかったという声と、切られないでよかったという声があります。(地域の住民より)

平成12年の秋から冬にかけて、富坂下から富坂上(中央大学理工学部正門前)へ移動された。

たたり説がこの地にとどめた？善光寺坂の棕の木(区の所有)

何でも大正時代、この地域の道路を整備する際に、通行の妨げになるのでこの木を切ろうとしたところ、工事の関係者が数名不幸に見舞われたので、そこで木のたたり説が発生したそうです。また、伝通院の敷地の一部にあった木なので御神木と思われるようです。そのおかげで現在のように木をよけて道が造られたとのこと。最近では、近くのマンション工事のクレーン車が通らないので勝手に枝を切り落としたりしたところ、その関係者にやはり不幸が…。木の半分が枯れているのは焼夷弾が近くに落ちて火災が発生した際の名残ですが、それでもなお生き続けているのです。(地域の風評より)

みどり公園課では平成12年に樹勢回復のために根の勢いをよくする土壌改良と、受ける風を三方向のロープ支柱を張って分散させる手当てと剪定を行いました。



3つの点は道が曲がっているの
で車がぶつからないための印

文京区地球温暖化対策実行計画の現状(2)



区の事業から直接排出されていると考えられる温室効果ガスの排出量削減（エネルギー使用量の削減）について前回ご紹介しましたが、今回は、その他の取組みについてご紹介します。その他の取組みとは、直接温室効果ガスの排出量を減らすものではありませんが、社会全体で見た場合に間接的に温室効果ガスの排出量を減らす効果のある取組みのことであります。

1 紙類購入量の削減および古紙配合率の改善

紙類購入量	11年度	12年度	13年度	14年度予測	17年度目標
A4換算枚数（単位：千枚）	63,328	62,068	66,063	66,570	60,200
指数	100	98	104	105	95
古紙配合率 70%以上の紙類購入の比率	79.40%	78.02%	79.41%	80%	90%
古紙配合率 70%以上の外部委託印刷物の比率	7.03%	11.6%	15.17%	60%	30%

事務用パソコンの整備とともに紙の使用量が増える傾向にあります。両面印刷・裏面使用の徹底を図るとともに、無駄に紙を印刷しないようパソコンの上手な使い方についての知識の普及に努めています。



2 一般廃棄物排出量の削減

シビックセンターの排出量（付帯施設を含む）

分類		11年度	12年度	13年度	14年度予測	17年度目標
可燃物	排出量(kg)	62,760	77,840	102,600	92,257	59,622
	指数	100	124.0	163.5	147	95
不燃物	排出量(kg)	23,520	30,260	39,600	31,752	22,344
	指数	100	128.7	168.4	135	95

排出量が大幅に増加しており、このままでは目標の達成は困難です。ごみの減量について、取組みを強化していますが、意識啓発以外に効果的な対策があまりないのが悩みの種です。

シビックセンター外の施設の排出量

ごみシールによる排出分	11年度	12年度	13年度	14年度予測	17年度目標
排出量（kg）	2,591	2,648	2,691	2,591	2,461
指数	100	102.2	103.9	100	95

14年度は減少に転じる見込みであり、この傾向を維持する必要があります。

3 水道使用量（全施設）の削減

水道使用量	11年度	12年度	13年度	14年度予測	17年度目標
使用量（ ）	602,193	616,334	589,624	580,000	572,083
指数	100	102.3	97.9	96	95



13年度から減少傾向が見られるので、この傾向を維持する必要があります。（環境対策課 大沢）

省エネ家族チャレンジコンクール 家庭内で省エネにチャレンジして、賞品（最高5万円相当）をゲットしよう！4月募集開始。詳細は、区報4月10号・ホームページ（準備中）をご覧ください。

区内の環境保全団体の近況・活動報告

文京に自然を育む会

今春も文京区内タンポ調査を予定。自然観察会は4月6日(日)高尾山『スマレの見分け方』、4月12日(土)給水所公苑『春の生きもの再発見!』。分かりやすい自然環境講座や環境以外のグループとの交流会も予定しております。

(連絡先 03-3818-5821 矢野真由美)

歴史・文化のまちづくり研究会

6月19日(木)好評のカトリック神田教会で「文化財と古楽コンサート」を開催。

6月7日(土)本郷菊坂の旧伊勢屋質店にて一葉の日記の朗読会を開催。午後1時30分、3時30分の2回(会費1500円お茶とお菓子付)
(申込連絡先 TEL 03-3814-2930 三船康道)

千駄木の森を考える会

3/23(日)のボランティア活動日に、雪の日(12月)に折れたスダジイの太い枝を整理し、葉っぱを池跡に、枝(丸太)を万年堀沿いに積み直しました。丸太は虫の棲みかやエサ場になるでしょう。また、この丸太を利用して「屋敷森の原則」の仮の看板を作りました。子どもたちが椿の花や茸を飾りました。参加した近所の子どもたちは生き物探しの名人で、何かを見つけては事務局の小川さん(学芸大助教授)に色々たずねていました。

次回ボランティア活動日: 4月第三日曜(予定)
(連絡先 03-3822-9217 秋山マキミ)

文京・ぐるーぷ たんぼぼ

東京の電力は、福島や新潟原発から高圧送電線で延々と送られてきます。高圧線からは電磁波がでておりその周辺で小児白血病の発生率が高いという疫学調査結果が出ています。電磁波の影響について検討しています。

(連絡先 03-3824-282 中島多恵子)



文京の文化環境を活かす会

現在、地域の方々や他の団体と共に、樋口一葉だけでなく、この地域にかかわったその他の文豪にも目を向けてイベントを計画中。

(連絡先 03-3813-0659 香月丈子)

緑のごみ銀行

生ごみを減らして花や緑を増やす活動です。

活動地 春日町交差点花壇、第4中学跡地、蓮華寺、光源寺、区立小学校など。

お好きなところで、一緒にいかがですか?

腐葉土のご希望も、ご連絡ください。

(連絡先 03-3811-2216 松本 美智子)

文京エコライフ緑の会

* 新江戸公園での雨の観察会
* Act for the Earth と協働した市民講座開催 「市民と学校とで作る総合学習」

講師: 東京大学教育学部教授・

市川伸一先生

多くの方にご来場いただき有難うございました。

(連絡先 03-3823-1030

三芳千恵子)

千駄木三丁目北町会

昨年に続き今年も文林中学校の施設を利用して子ども防災キャンプを実施します(8/2-3)。今回は区主催の防災訓練も同時に行われ、子どもだけでなく保護者らも参加、地域一体となった防災まちづくりを目指しています。(連絡先 03-3824-0150 菅 完治)

環境IVYリーグ・文京

活動も2年目となり、緑の散歩道構想など行政との共働の道も見えてきました。壁面緑化にとどまらず、文京の教育と緑化環境を会員の皆様と検討していきたいです。今後はIVYをさらに別の場所に植える予定です。(連絡先 03-3946-4468 根本 純)

落ち葉から発生するいろいろな問題

都市の緑地の所有者の負担をいかにして軽減できるか 白山の心光寺の場合

地域の方々のご理解をいただいて、恒例となっている

落ち葉掃き焼芋大会は年を追うごとに盛況となり、最近では100名を越す規模となっています。しかし、100人分の焼芋を焼くのに要する落ち葉は、当日皆さんで掃き集めるだけでは足りず、寺の家族で何日もかけて集めて置かなくてはならないなど、その労力は甚大です。また、樹木の手入れには年間200万円ほどかかり、経済的、人的負担はすべて所有者にかかっていることを知っていただきたいのです。今後は、焼芋の季節になったら、例えば毎週土曜日(?)の午後に落ち葉掃きをして焼芋をしたいと考えていますが、それには煙の問題など、今まで以上に地域の皆さんのご理解とご協力をいただかなくてはならないでしょう。(心光寺副住職のお話より)

落ち葉をごみとして出さないことへの配慮、あるいは、都市の中において落ち葉を燃して焼芋が食べられることなど、本来の人の生活の在り方がみられます。

寄稿コーナー

須藤公園のツツジの植栽について

2月の下旬にみどり公園課より千駄木の森を考える会に「地元町会の要望により、須藤公園に、ツツジの植栽工事などを計画しています。3月中旬に工事を行う予定なのですが、問題はないでしょうか？もし貴重な植物などがありましたら、そこは避けるようにしたいので。」と相談されました。私たちの活動の拠点「千駄木ふれあいの杜」以外の緑地についても、事前に相談いただいた事実を尊重したいと思いました。そこで早速メンバーに声をかけ、3月5日にみどり公園課の職員2名とメンバーの4名で、須藤公園の現況調査を行いました。職員の好意的な対応、メンバーの経験と日頃の観察が生きて、大変有意義なものとなり、須藤公園の素晴らしさを改めて実感しました。ツツジは全体に植えるのではなく目に付くところ所要所に植えた方が効果的等の検討を行い、野草の保全についても話し合い、図面を作りました。これを元に、3月11日に第1次工事が行われ、調査したメンバー1名と職員2名が立ち会いました。工事担当者は、自然の保全、市民と協力しあっている作業には不慣れだったようですが、まずは第1歩です。

(千駄木の森を考える会 秋山)

大楠からのこぼれ話その3

本郷一丁目の区立本郷保育園には、ビルの谷間などの陽の当たらない土地に太陽光をもたらず、太陽光採光装置が設置されています。ミラーで反射される光線は自然光の半分くらいですが、紫外線もほとんど除去されるそうです。保育園という施設は建設上の規制があって、高層化できないので、このような設備が必要になるようです。

特定非営利活動法人(申請中)環境ネットワーク・文京が発足しました

連絡先 澤谷 3837-1901 E-mail: sawatan@at.wakwak.com

2期4年にわたり活動してきた文京区環境ネットワーク会議ですが、このたびネットワーク委員を中心に、区民・環境団体・事業者・大学を幅広くネットワークする組織が誕生しましたので、3月末をもって区のネットワーク会議としては活動を終了することになりました。このニュースも、新しい組織が発行するネットワーク・ニュースにバトンタッチしますので、本号が最後となります。3年間のご愛読ありがとうございました。引き続き、新ネットワーク・ニュースをよろしくお願ひいたします。

編集後記

私の住む目白台3丁目(旧名高田老松町。細川邸(現在の和敬塾)の門の脇に鶴亀の老松があったことに由来するそうです。それにしても最近の街の風景の変わり様はなんと云ってよいのか。自給自足出来る文京区を思い描きながら複雑な心境です。(岡本)

自動車や自販機があれば便利なものですが、人間が利便性を追求すると環境が悪くなるようです。頭と身体を使えばそれだけで環境はよくなるのでは。それにしても文京の文化・歴史環境は所有者の皆さんや地域の方々のお知恵と勇気のためものでした。(坂倉)

文京区の街をこよなく愛しつづける多くの方々とこの2年間対話してきました。誰も彼もがわが街をさらに住みやすくするために一杯つづけていました。さらに美しい街を期待!(杉本) 環境情報の収集と発信のためのニュースづくりも委員の任期

終了が引け時のようです。取材で歩いて見て聞いて、ご協力いただいた皆様に感謝。しかし文京区の奥は深く味わいも深い。(竹井) 1年間、職員として紙面づくりに参加しました。他の編集委員の方々のご苦勞に頭が下がる想いです。お疲れさまでした。(大沢)